

# 佐賀小学校における働き方改革 チェックシート R6.2

No.	項目	内容 (教育委員会との調整が必要な内容も含みます。)	学校・教師が担う業務に係る3分類	チェック欄			備考(振り返り、検討内容等)	
				年度当初	年度途中	年度末		
2	1	授業	児童の登校時刻、下校時刻を見直し、学級事務や校務分掌処理の時間を確保する。複式授業を解消し、複式学級担任の負担を減らす。教務主任の授業時間を減らす。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	完了	完了	完了	校時表の見直しにより、放課後の時間にゆとりができた。支援員の配置により、さらなる負担軽減を図っていきたい。
3	2	授業準備	教師間でICT等を活用し、教材や学習プリントを共有化する。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	着手中	情報担当によりやまぐちっ子学習プリントの共有システムができた。教材の共有については個人差が大きく教材作成に時間がかかりすぎているところがあるため、個人の物にせず共有化を図る。
4		業務支援員が、学習プリントの印刷、丸付け、教室掲示などの授業準備などを行う。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	着手中	各自が業務支援員に任せる内容を選択し計画的に依頼するなど、効果的な活用を工夫していく必要がある。	
5	3	成績処理	授業デザインシートの改善を図り、指導案等の文書の記入内容の精査、削減をする。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	完了	完了	記入内容が削減されている。
6		学習評価にICT(写真や動画含む)を活用する。評価に係る学級事務の時間を確保する。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	完了	完了	学習評価にICT(写真や動画含む)を活用する。評価に係る学級事務の時間を確保する。
8	4	生徒指導	通知表を見直し、所見欄を重点化する。専科教員も所見作成に協力し、担任の負担を軽減する。ICT支援員が通知表の作成、印刷を行う。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	完了	所見欄の重点化を図ることができた。来年度は評価に係る学級事務の時間をさらに増やす計画である。
9		登下校時は、見守りボランティア、カンガルー応援隊、管理職が中心に対応する。	①基本的には学校以外が担うべき業務	着手中	着手中	着手中	着手中	下校時の対応について、見守りボランティアやカンガルー応援隊の協力について検討していく。
11	4	生徒指導	児童生徒の休み時間における対応は、カンガルー応援隊、学校支援員の協力を得る。	②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	未対応	未対応	未対応	カンガルー応援隊や学校支援員の協力について検討していく。
12		児童による清掃活動は週3回とする。年2回のワックスがけは、ボランティア(地域人材・中高生)の協力を得る。	②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	完了	完了	完了	完了	児童による清掃活動は週3回とする。年2回のワックスがけは、ボランティア(地域人材・中高生)の協力を得る。
13		給食は全校一斉にランチルームで行う。配膳や片づけは、養護教諭・カンガルー応援隊、業務支援員等と連携して行う。	②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	着手中	着手中	完了	完了	ランチルーム給食の際は輪番制で給食指導に当たることで、学級事務の時間の確保につながった。
14		支援が必要な児童生徒等・家庭への対応について、SC、SSW、特別支援教育地域CO等の専門的な人材等の参画を得る。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	完了	完了	完了	本年度はSSWとの定期連絡会をもつ体制が整った。CSの来校回数が増える活用が広がるが、会議に要する時間は削減したい。
18	5	学校行事	学校行事(運動会等)の精選、時間短縮を行う。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	着手中	運動会は今後も半日開催、土曜日開催とする。参観日のもち方などについて検討していく。
19		参観日、個人懇談会の時間設定を工夫する。来年度に向けて家庭訪問を希望制とし、年度初めの学級事務、校務分掌処理の時間を確保する。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	完了	完了	個人懇談会については、学級の児童数を考え設定を増やすことで担任の負担軽減を行った。家庭訪問については来年度は希望制を導入することで、年度初めの学級事務や校務分掌処理の時間を確保できるようにする。
21	6	学校経営・学級経営	プロジェクト部会を中心に業務改善の視点で学校運営を見直すシステムを作る。長期休業中に全体で改善案を検討する。	-	着手中	着手中	完了	教職員から出された改善案については実践につなげることができた。
22		教師の業務の負担を軽減するために、業務支援員をはじめとした支援スタッフが参画できる業務を増やしていく。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務	着手中	着手中	着手中	着手中	業務支援員がいることで負担軽減が図られている。さらに効果的な活用を促していく。
24	7	職員会議などの会議	職員会議や終礼はペーパーレスで行う。終了時刻を設定して会議を行う。児童についての情報交換会は基本的に週1回とする。必要な連絡は、Teamsや連絡黒板で行う。	-	着手中	完了	完了	ペーパーレスは定着している。会議時間の削減については、事前の相談や計画的な提案、提案内容の精選などにより、各自がタイムマネジメントを意識していく必要がある。
25	8	事務	事務職員、業務支援員が中心となって印刷室や備品の整理整頓をすることで効率的に業務のできる環境づくりを行う。	②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	未対応	着手中	完了	環境整備が進み、仕事のしやすい良い環境ができてきている。
26		学校徴収金の徴収・管理は、口座振替で行う。ネットバンキングを活用し、事務職員が銀行に行く時間を削減する。	①基本的には学校以外が担うべき業務	着手中	完了	完了	完了	学校徴収金の徴収・管理は、口座振替で行う。ネットバンキングを活用し、事務職員が銀行に行く時間を削減する。
28	9	校内研修等	研究協議会はロイノート等を活用し、効率的に行う。	-	着手中	完了	完了	研究協議会の準備にかかる時間が削減されている。
29	10	保護者・PTA対応・地域対応	緊急時の一斉連絡、学校・学級だより、アンケート等の保護者向けの連絡について、デジタル化を推進する。	-	着手中	着手中	着手中	学校評価アンケートのデジタル化により、アンケート処理事務に係る時間の削減がかなりできた。学校だより、学級だよりについては、必要に応じてデジタル化を検討していく。
30		勤務時間外における保護者や外部からの問い合わせ等に備え、留守番電話を活用する。	-	着手中	完了	完了	完了	留守番電話の設定時刻を守ることで、業務時間外の保護者からの問い合わせ電話が減ってきた。
31		地域人材等との連絡調整、出前授業のチラシ作成等は、地域学校協働活動推進員が中心となる。	①基本的には学校以外が担うべき業務	着手中	完了	完了	完了	地域学校協働活動推進員が業務を行うことで、教頭や地域連携担当の負担軽減が図られている。
32	合計(完了の数)				2	9	15	